

# 令和5年度上越市美術展覧会 第2回運営委員会

## 次 第

日時：令和5年9月23日（土・祝） 午後0時30分から

会場：高田城址公園オーレンプラザ 多目的室

### 1 開 会

### 2 運営委員長あいさつ

### 3 報 告

- (1) 第52回上越市美術展覧会出品状況（公開） . . . . . 1

### 4 議 題

- (1) 実施概要について（公開） . . . . . 2
- (2) 展示レイアウトについて（公開） . . . . . 3
- (3) 部門別入賞点数及び佳作点数について（公開） . . . . . 7
- (4) 作品審査について（公開） . . . . . 8
- (5) 講評原稿の作成について（公開） . . . . . 9
- (6) その他（公開）

### 5 閉 会

上越市美術展覧会運営委員会委員名簿

任期：令和4年4月1日から令和6年3月31日まで

委嘱（任命）の日	氏名	選出区分	部門	備考
令和4年4月1日	洞谷 亜里佐	専門委員	日本画	日本美術院 院友 運営委員会委員長
令和4年4月1日	小林 充也	〃	〃	日展会友
令和4年4月1日	五十嵐 正	〃	洋画・版画	市展無鑑査
令和4年4月1日	堀川 紀夫	〃	〃	市展無鑑査 運営委員会副委員長
令和4年4月1日	松尾 大介	〃	彫刻・立体造形	上越教育大学 教授
令和4年4月1日	大藏 豊彦	〃	工芸・グラフィックデザイン	日本工芸会 正会員
令和4年4月1日	兪 期天	〃	〃	上越教育大学 講師
令和4年4月1日	押木 秀樹	〃	書道	上越教育大学 教授
令和4年4月1日	山田 真一	〃	〃	久比岐野書道会 顧問・相談役
令和4年4月1日	藤野 正二	〃	写真	日本写真協会 会員
令和4年4月1日	関 敏雄	〃	〃	日本写真協会 会員
令和4年4月1日	佐藤 勝則	学識経験者	—	新潟日報社 上越支社長

顧問 筑波 進（前運営委員会委員長）

### 第52回上越市美術展覧会出品状況

合計 / 出品者数 (公募)		年度						
部門	部門	H29	H30	R1	R3	R4	R5	R5-R4
1	日本画	9	13	14	9	24	17	▲ 7
2	洋画・版画	103	109	112	109	101	109	8
3	彫刻・立体造形	6	7	11	11	8	7	▲ 1
4	工芸・グラフィックデザイン	15	18	21	23	17	10	▲ 7
5	書道	57	44	51	49	48	52	4
6	写真	97	81	84	74	76	85	9
総計		287	272	293	275	274	280	6

合計 / 出品点数 (公募)		年度						
部門	部門	H29	H30	R1	R3	R4	R5	R5-R4
1	日本画	9	14	15	10	25	19	▲ 6
2	洋画・版画	112	113	123	115	104	114	10
3	彫刻・立体造形	7	7	11	12	8	7	▲ 1
4	工芸・グラフィックデザイン	16	22	27	28	19	13	▲ 6
5	書道	61	47	53	52	49	53	4
6	写真	135	114	122	113	110	124	14
総計		340	317	351	330	315	330	15

合計 / 出品点数 (無鑑査)		年度						
部門	部門	H29	H30	R1	R3	R4	R5	R5-R4
1	日本画	8	7	8	4	7	7	0
2	洋画・版画	19	18	18	13	16	15	▲ 1
3	彫刻・立体造形	2	2	2	1	1	1	0
4	工芸・グラフィックデザイン	4	3	4	3	4	3	▲ 1
5	書道	28	29	26	27	26	27	1
6	写真	8	7	5	3	6	3	▲ 3
総計		69	66	63	51	60	56	▲ 4

## 第 52 回上越市美術展覧会 実施概要

### 1 会期

令和 5 年 10 月 1 日（日）～9 日（月・祝）[9 日間] 午前 10 時～午後 6 時

※1 日(日) 午前 9 時 20 分から表彰式、開場式を実施、9 日(月・祝) は作品返却のため午後 4 時まで

### 2 会場（各部門展示場）

会場施設名	部屋名	部門
高田城址公園 オーレンプラザ	ホール	日本画 洋画・版画
	研修室・会議室	彫刻・立体造形 工芸・グラフィックデザイン
ミュゼ雪小町	ギャラリー	書道
	A・B・C	写真
	多目的室	

### 3 作品審査

9 月 23 日（土・祝）午後 0 時 30 分～ 運営委員会 [入賞数・佳作数を決定]  
 午後 1 時 15 分～ 審査員・運営委員顔合わせ  
 午後 2 時～ 作品審査  
 午後 3 時 30 分～4 時 30 分 作品講評（公開講評）  
 午後 4 時 30 分～5 時 30 分 講評原稿執筆

#### 【審査員】

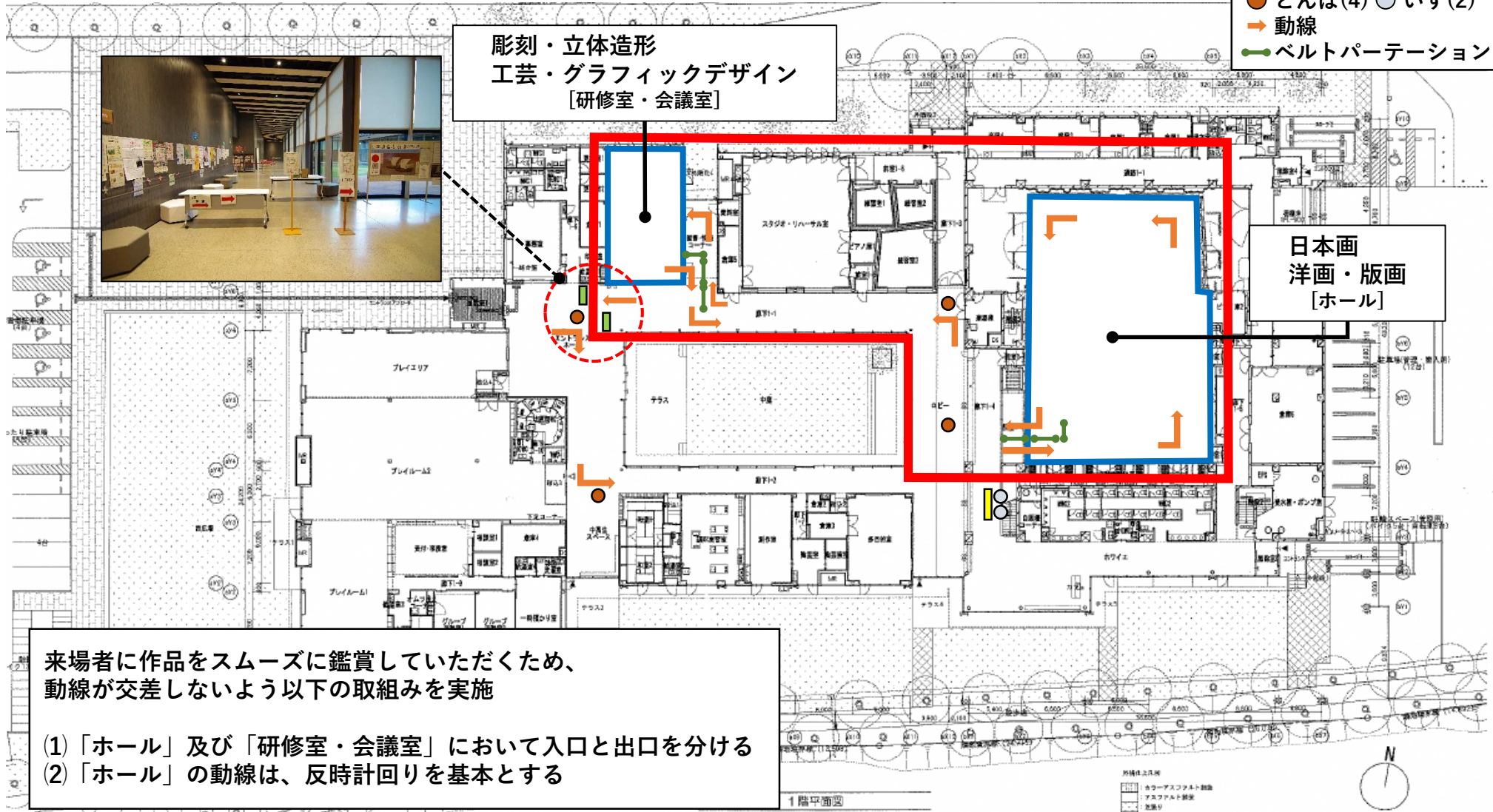
- ・日 本 画 市原 義之（日展特別会員）
- ・洋 画 ・ 版 画 藤嶋 俊會（美術評論家連盟会員、屋外彫刻調査保存研究会運営委員）
- ・彫刻・立体造形 大塚 道男（国画会会員、愛知県立芸術大学名誉教授）
- ・工芸・グラフィックデザイン 長谷川 克義（長岡造形大学造形学部美術・工芸学科准教授、日本鍔金家協会会員）
- ・書 道 横田 恭三（跡見学園女子大学文学部教授、全国大学書道学会会長）
- ・写 真 榎並 悦子（全日本写真連盟副会長、日本写真家協会正会員）

### 4 表彰式・開場式

- ・日 時 10 月 1 日（日）午前 9 時 20 分～
- ・会 場 高田城址公園オーレンプラザ ホール前
- ・主催者 市長、教育長、顧問、上越市美術展覧会運営委員、新潟日報上越支社長
- ・来 賓 上越市議会議長、文教経済常任委員長、教育長職務代理者、  
教育委員、上越市社会教育委員、上越美術協会会長、高田文化協会会長

令和5年度 第52回上越市美術展覧会 展示レイアウト  
オーレンプラザ会場【全体】

- <凡例>
- 受付(1)
  - 入場遮断用テーブル(2)
  - とんぼ(4) ○ いす(2)
  - 動線
  - ベルトパーテーション



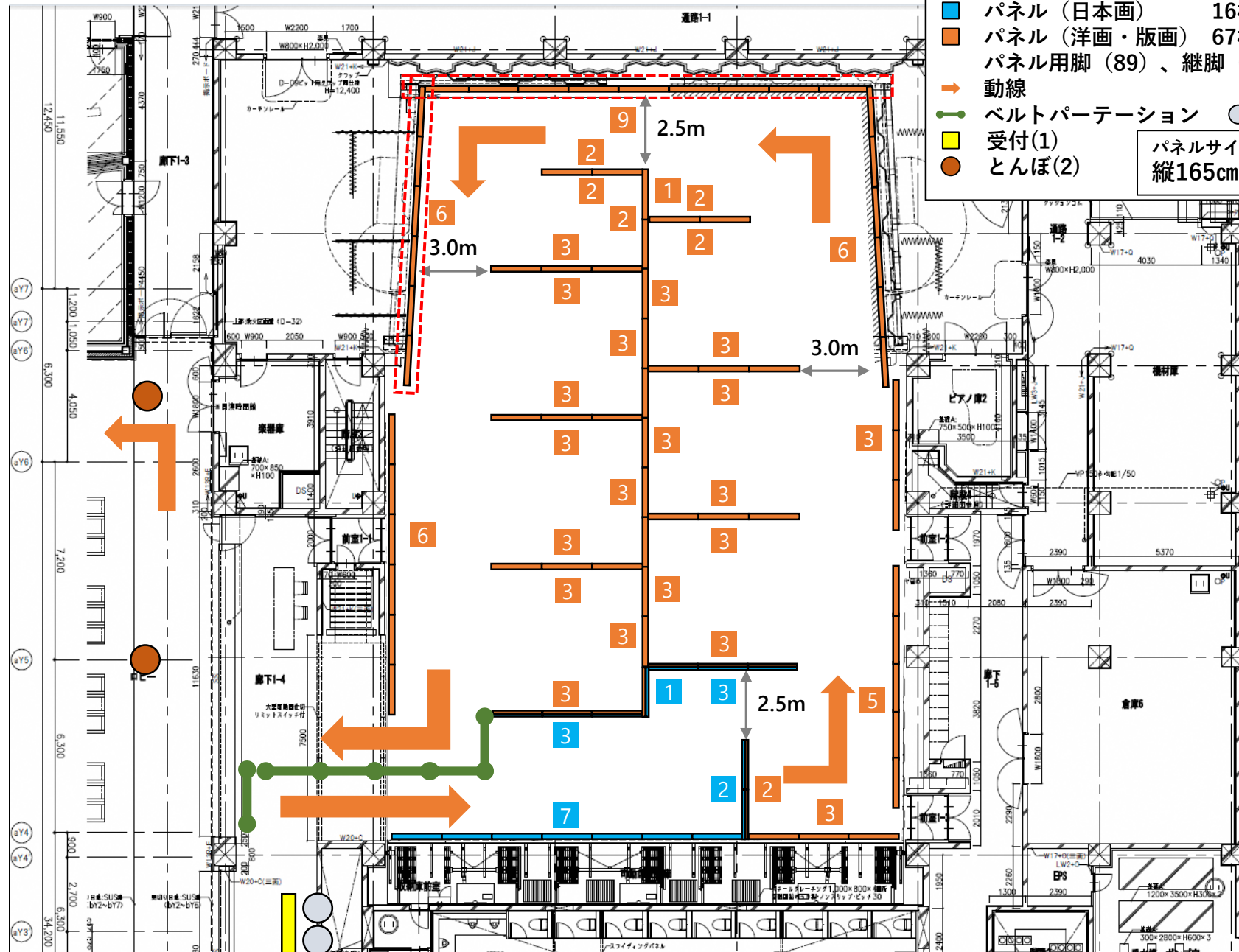
彫刻・立体造形  
工芸・グラフィックデザイン  
[研修室・会議室]

日本画  
洋画・版画  
[ホール]

来場者に作品をスムーズに鑑賞していただくため、  
動線が交差しないよう以下の取組みを実施

- (1) 「ホール」及び「研修室・会議室」において入口と出口を分ける
- (2) 「ホール」の動線は、反時計回りを基本とする

令和5年度 第52回上越市美術展覧会 展示レイアウト  
オーレンプラザ会場【ホール】

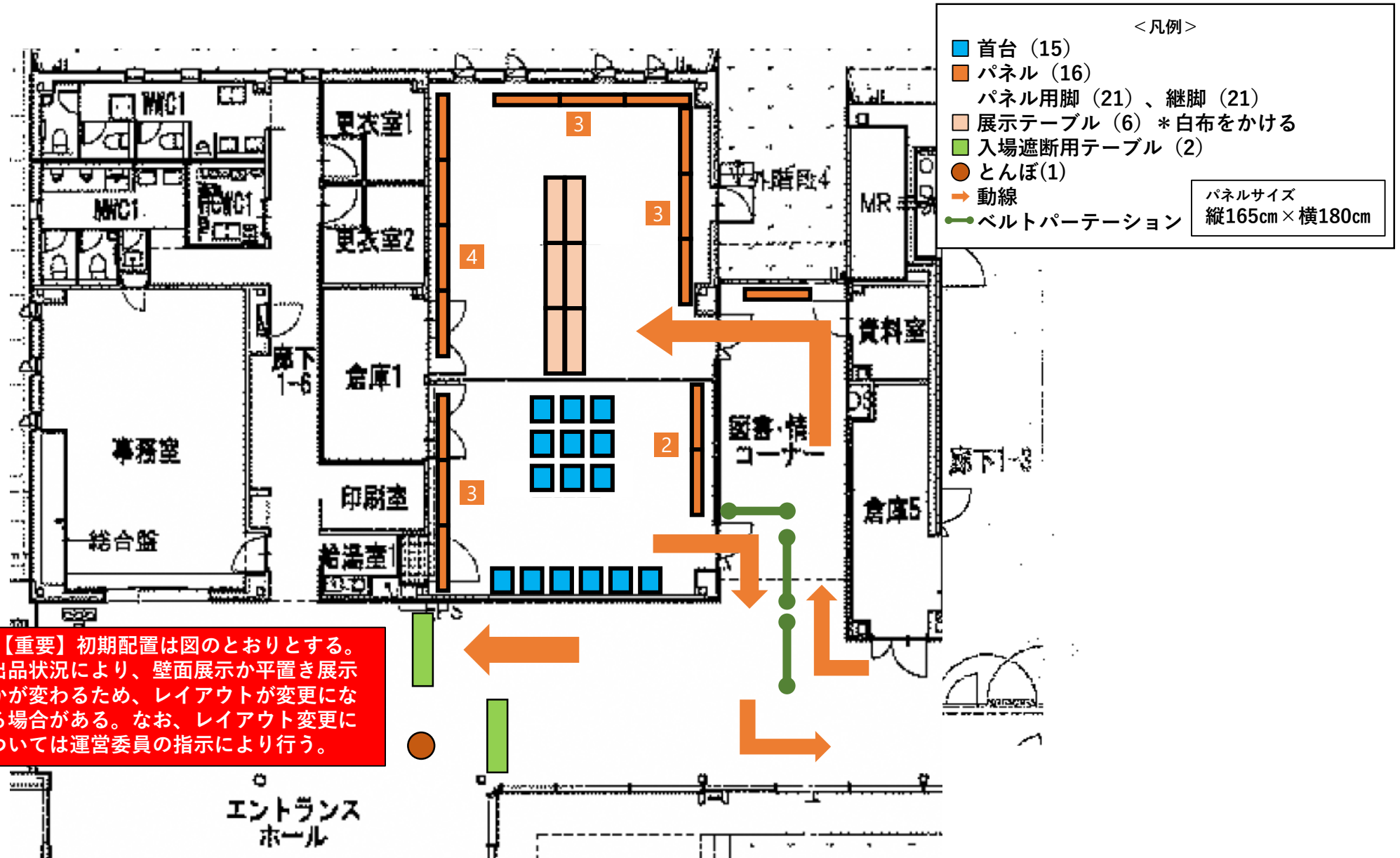


<凡例>

- パネル (日本画) 16枚 (16面)
- パネル (洋画・版画) 67枚 (105面)
- パネル用脚 (89)、継脚 (89)
- 動線
- ベルトパーテーション ○ いす(2)
- 受付(1)
- とんぼ(2)

パネルサイズ  
縦165cm×横180cm

令和5年度 第52回上越市美術展覧会 展示レイアウト  
オーレンプラザ会場【研修室・会議室】

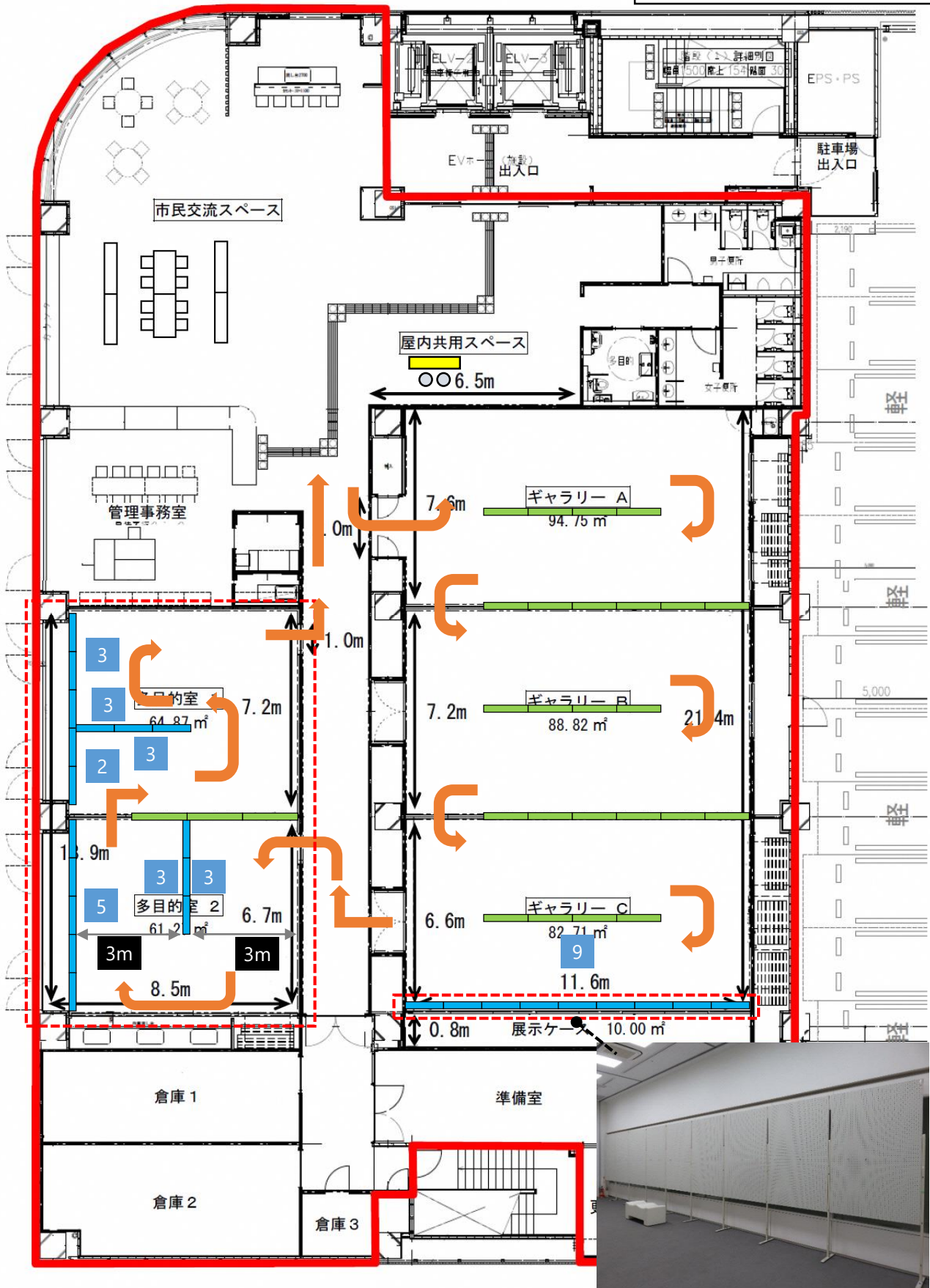


令和5年度 第52回上越市美術展覧会 展示レイアウト  
 ミュゼ雪小町会場

<凡例>

- パネル 25枚 (31面)
- 受付(1)
- いす(2)
- 動線

パネルサイズ  
 縦180cm×横120cm





第52回上越市美術展覧会 部門別入賞点数及び佳作点数について

■入賞数

- ・市展賞 部門ごとに1点以内
  - ・優秀賞 全体で6点以内
  - ・奨励賞 全体で18点以内
  - ・新潟日報美術振興賞 部門ごとに1点。(ただし、出品点数20点以上の部門が対象)
- } ※予算を基に（案）として提示する点数

■佳作数

出品者数に対し、5.0%から10.0%程度を基本とする。

部 門	出品者数 (出品点数) A	入賞					佳作	
		点数 (案)					点数 (案) C	佳作率 C/A
		市展賞	優秀賞	奨励賞	日報賞	合計 B		
1 日 本 画	17 (19)				該当なし		2	11.8%
2 洋画・版画	109 (114)				1		11	10.1%
3 彫刻・立体造形	7 (7)				該当なし		1	14.3%
4 工芸・ グラフィックデザイン	10 (13)				該当なし		1	10.0%
5 書 道	52 (53)				1		5	9.6%
6 写 真	85 (124)				1		9	10.6%
合 計	280 (330)				3		29	10.4%

# 作品審査について

## 作品審査概要

日 時	9月23日（土・祝）14:00～15:30 作品審査 15:30～16:30 公開講評（審査員による作品講評会） 16:30～17:30 講評原稿執筆 16:30～21:00 作品展示	
審 査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・審査中は一般の方は入場できません。</li> <li>・審査結果は「審査結果通知はがき」にて、すべての審査終了後5日間程度で本人あてに通知します。（電話やメールでの問合せには、お答えできません。）</li> <li>・入賞、入選作品一覧は上越市ホームページへ掲載します。</li> <li>・入選作品のみ展示します。また、入選証の交付はいたしません。</li> <li>・審査及び展示について、出品者は異議を申し立てることができません。</li> <li>・指導者の指導過多と認められる場合は、入選あるいは入賞を取り消すことがあります。</li> </ul>	
	入 賞	入選作品で優秀なものには市展賞、優秀賞、奨励賞、新潟日報美術振興賞を贈呈します。
	佳 作	入賞作品（市展賞、優秀賞、奨励賞、新潟日報美術振興賞）を除く入選作品の中から、優れた作品を佳作として認定します。ただし、佳作は入賞歴に含みません。
	講 評	9月23日(土・祝) 審査終了後、審査員による作品講評会を午後3時30分から行います。（申込み不要、参加する人は直接展示会場へ） なお、審査の状況により開始時刻が前後する場合があります。
審査員 * 敬称略	日 本 画	市原 義之（日展特別会員）
	洋 画 ・ 版 画	藤嶋 俊會（美術評論家連盟会員、屋外彫刻調査保存研究会運営委員）
	彫刻・立体造形	大塚 道男（国画会会員、愛知県立芸術大学名誉教授）
	工芸・グラフィックデザイン	長谷川 克義（長岡造形大学造形学部美術・工芸学科准教授、日本鍍金家協会会員）
	書 道	横田 恭三（跡見学園女子大学文学部教授、全国大学書道学会会長）
	写 真	榎並 悦子（全日本写真連盟副会長、日本写真家協会正会員）

## 作品審査体制

(敬称略)

区分	日本画	洋画・版画	彫刻・立体造形	工芸・GD	書道	写真	役割
審査員	市原 義之	藤嶋 俊會	大塚 道男	長谷川 克義	横田 恭三	榎並 悦子	作品審査、原稿作成
運営委員	洞谷 亜里佐 小林 充也	五十嵐 正 堀川 紀夫	(※)	大藏 豊彦 兪 期天	押木 秀樹 山田 真一	藤野 正二 関 敏雄	審査の進行、展示位置の指示
市職員	福山課長 中田主事	宮川係長 佐藤主事	岩片主任	閨間係長	山田主査	竹内副課長 小菅職員	審査結果記録、入賞者報告、 展示など
審査補助員 (委託)	1	4	1	1	3	4	落選作品移動、 作品配置換え、展示

(※) 彫刻・立体造形部門：松尾委員が欠席のため、洞谷委員長が対応

佐藤委員におかれましては、「新潟日報美術振興賞」に関係する部門を中心に審査状況の確認をお願いします。

## ●講評原稿の作成について

下記内容を記した依頼文及び前回出品目録を用意しますので、審査員の方へご説明願います。

### 審査員講評の作成のお願い

見 本

出品作品に関する審査員の先生方の審査講評を、市展会期中に来場者等へ配布する「出品目録」に掲載するため、下記により作成くださいますようお願いいたします。

#### 記

■講評の内容は、次のことを中心に作成してください。

- ・担当部門の全体講評
- ・市展賞ほか、主な受賞作品についての印象、選定理由
- ・出品者及び市展への今後の期待 など

■文字数等

- ・別紙原稿用紙2枚程度でお願いします。(800字程度)
- ・記入は、縦書きで文章は、「です。ます。」調でお願いします。

■その他

- ・審査終了後、執筆いただき、17時30分までに担当職員にお渡しください。
- ・執筆は、同封の原稿用紙にご記入いただくか、各会場に設置されているパソコンを使い入力してください。
- ・前回の出品目録を参考に添付いたします。
- ・メールで送信される場合は、恐れ入りますが、9月24日(日)正午までに上越市美術展覧会事務局までお願いします。  
※配付用資料には送信先メールアドレスを記載しています。

